

進路「夢」実現



進路だより 第4号
令和7年2月28日発行
大笹生支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



日頃より、本校の進路指導への御理解と御協力をいただき感謝を申し上げます。

2024年はオリンピックイヤーで、本県出身の選手が活躍いたしました。特に、特別支援学校を卒業した遠藤裕美選手のボッチャ競技におけるメダル獲得は、多くの人に勇気と感動を与えてくれました。ここに至るまでには、本人のたくさんの努力と多くの支援があったものと推察します。本人と周りにいる人たちが同じ目標に向かって進んできた力と技を発揮し「夢」を叶えたオリンピックでした。

子どもたちの「夢」はなんでしょう。一人一人にたくさんのそしているいろいろな「夢」があると思います。同じく保護者の皆さんにもお子さんに対する「夢」をお持ちだと思います。しかし、「夢」を叶えるということは大変難しいです。それでも「夢」を持つことによって心が動きます。体が動きます。それが原動力となることが増えます。進路実現のために必要なことです。

児童生徒自身が保護者の皆様が、学校が同じ「夢・目標」を持つことも「夢」実現に必要なことです。その中で学校は、生徒一人一人が自分の目標に向かって努力する上で、その可能性を引き出すことが役割です。これまでの本人の努力と御家族並びに事業所の皆様の温かい御支援の成果を、社会において発揮できるよう願っています。また、新しい事へチャレンジすることも忘れずに歩いてほしいです。

今年度は、小学部16名、中学部17名、高等部30名の卒業生がそれぞれ次のステージへ向かいます。どのステージにおいても「夢」をもつことから始まり、進路実現のためにこの「夢」を育む学校でありたいと考えます。今後ともよろしく願いいたします。

校長 西牧 辰典

◆令和6年度各学部卒業生の進路先状況

●小学部卒業生 16名



進学（16）

本校中学部進学予定（16名）

●中学部卒業生 17名



進学（17）

本校高等部進学希望（17名）



分類	進路先区分	人数	進路予定先
就職	一般就職	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ヨークベニマル（2名） ・コープふくしま いずみ店 ・東北日東工器株式会社 ・株式会社ユアライフ ・ヤマト運輸株式会社
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業所	就労継続支援B型事業所	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・指定障害福祉サービス事業所 ベーシック憩 ・社会福祉法人しのぶ福祉会 あづま授産所（3名） ・就労継続支援事業所 そら ・就労継続支援B型 チング（2名） ・就労継続支援B型事業所 ジョブ・サポート笑心 ・就労継続支援B型 アイエスエフネットジョイ福島 ・NPO法人 あおば ・NPO法人 ふくしまウォームネット 杜の花（2名） ・指定就労継続支援B型事業所 すてっぷ ・多機能型事業所 大生信夫の里 ・就労継続支援B型事業所アットホーム ・社会福祉法人 けやきの村 ・指定障害福祉サービス事業所 アクセスホームさくら
	生活介護事業所 （併用を含む）	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護円風舎 ながまる（2名） ・あづまライフきぼう ・多機能型事業所 大生信夫の里 ・生活介護 ハッピー ・ケアカフェ 鈴と小鳥 ・カラーの夢
進学	進学校	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校仙台みらい高等学園
その他	未定	2名	

卒業
おめでとう!



高等部卒業生から

3年1組 M・T

私は、「コープふくしま」様から採用内定をいただき、3月16日より勤務の予定です。

2年生の後期から3年生の前・後期の実習でお世話になり、農産部門では野菜の袋詰めやラップかけ、ドライ部門では定番商品の品出しや値引きなどの仕事を体験させていただきました。最初は経験がない仕事に挑戦することにとっても不安を感じました。品出しをしながらの接客もありましたが、接客をする上で一番大変だったことは、どのような商品がどこに置かれているかを覚えることでした。

最初は品出しと接客の仕事を両立するのに時間がかかりましたが、実習を2度3度と重ねるうちに、だんだんスムーズにできるようになりました。

そして、お客様の役に立てた時には、やりがいを感じました。

実習に行くときは緊張もありましたが、当然のことですが、挨拶や報告・連絡・相談を意識して仕事に取り組みました。

卒業したら、3月半ばから仕事が始まりますが、これまで学校で学んできた知識や、現場実習での経験を生かし、新しいことに挑戦しながら頑張っていきたいと思います。後輩のみなさん、進路決定までには、これまで経験していないことに取り組みなければいけないことが多く、不安だらけだと思いますが、ひとつひとつ頑張ることで自信がついていくと思います。自分を信じて頑張ってください。



3年3組 T・K

僕は、就労継続支援B型事業所のNPO法人あおばで働きます。あおばでは、自転車のブレーキ部品の組み立てやアパート清掃、ワイヤーシールのチューブ入れ、お菓子作り、お菓子の詰め合わせ、除草作業などの仕事があります。

僕はあおばで3回実習しました。あおばの実習で、楽しかった仕事は、アパート清掃です。その理由は、アパートのドアやドアノブ、インターフォン、ポストなどを雑巾で丁寧にすみずみまで拭くことができたからです。

楽しかった仕事は、お菓子の詰め合わせです。その理由は、50個のお菓子を全部箱に詰めるために、お菓子を詰める順番やお菓子の向きを工夫するので、難しい作業だなあと感じたからです。

社会人になるために頑張っていることは、時間を守ることです。時計をこまめに見ることや文字を速く書くことが少しずつできるようになってきました。

在校生のみなさん、学校生活を楽しく送って、思い出をたくさん作ってください。

✿✿✿✿✿ 今年度の進路指導を振り返って ✿✿✿✿✿

小学部教諭 鳴原 瑞穂

小学部でも進路指導の目標である自立と充実した社会参加を目指して、「挨拶」や「排せつ」、「食事」、「着替え」や「係活動」などに日々取り組んでいます。今年度からはそれらの活動を記録し蓄積するために、キャリア・パスポートの活用が始まりました。学期・学年を見通して教師と話し合ったり、教師が子どもの思いをくみ取ったりしながら目標を立て、学んだことを振り返り、キャリア・パスポートにとじています。振り返りは成功体験のみでなく、自分の思うようにいかなかったことも残し、そこから何を学んだのかという視点も大切にしています。保護者の皆様からいただいたメッセージは、子供たちの学習や生活の励みになっています。小学部、中学部、高等部と活動を積み重ね、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげていければと思います。

中学部教諭 大竹 和美

今年度より「キャリアパスポート」の活用が開始されました。中学部でも、生徒が「なりたい自分」イメージし、担任と対話・相談を重ねながら目標を学期毎に丁寧に決めていきました。生徒と担任が対話をしていく時間を通して、自分の進路(生き方)についての思いを、より具体的にそして自分事にしていくことができたと考えます。

授業参観の折に実施した作業製品の対面販売では、緊張をしながら接客をしている様子が見られましたが、事前の説明練習の成果を発揮し、本番でもお客と対話をし、製品の特徴をアピールすることができました。販売会後の充実した笑顔は、生徒たちの達成感の表れであると考えます。これからも貴重な実体験の機会を大切にしながら、主体的に行動する力を育てていきたいと考えます。

高等部3学年主任 國分 章夫

振り返りますと、作業学習や進路学習、職業、年2回実施している産業現場等における実習などを通して、働くことの意味や、集中力、体力、あいさつ、返事、報告、連絡、相談などの力を社会人として働くための基本的な素養として身につけることができたのではないかと思います。

社会人になっても、これら高等部3年間で学んだことを活かして歩んでくれると信じています。自分でできることは自分で解決し、自分でできないことは人に相談しましょう。人は誰しも、いろいろな人に支えてもらって生きています。自分で解決できないことは人を頼るのも一つの方法です。頑張ってくださいね。

今年度も、保護者の皆様にはいろいろと進路指導に御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。これからもよろしくお願い申し上げます。



ありがとう
ございました

